

会議結果

次の附属機関等の会議を下記のとおり開催した。

附属機関等の名称	令和5(2023)年度第3回みよし市地域公共交通会議		
開催日時	令和6(2024)年1月10日(水) 午後1時30分から午後2時45分まで		
開催場所	みよし市役所3階 研修室3・4・5		
出席者	<p>【会長】 伊豆原浩二 【副会長】 松本幸正</p> <p>【委員】 鈴木壽 久野文仁 増岡庶 小林裕之 大野淳 大竹宏(代理 加藤水竹) 山口直毅 大橋成和(代理 大澤祐貴) 花村元気(代理 夫馬康昌) 宮川高彰 増岡浩仁 野澤雄二 新谷千晶 吉井涼華 村田信光 舟橋伸幸</p> <p>【事務局】 都市建設部部長 都市計画課長 都市計画課副主幹 都市計画課副主幹 都市計画課主事 都市計画課技師 福祉課長 長寿介護課長 長寿介護課副主幹</p>		
次回開催予定日	—		
問合せ先	<p>都市建設部都市計画課 担当 原田、森</p> <p>電話番号 0561-32-8021</p> <p>ファックス番号 0561-34-4429</p> <p>メールアドレス toshi_k@city.aichi-miyoshi.lg.jp</p>		
下欄に掲載するもの	・議事録全文	・議事録要約	要約した理由
典 礼 近藤都市計画課長	<p>定刻になりましたので、ただいまから令和5年度第3回みよし市地域公共交通会議を開催いたします。</p> <p>委員の皆さま方におかれましては、大変お忙しい中、御出席いただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>それでは、会議の開催にあたりまして、伊豆原会長より御挨拶をいただきたいと思っております。</p>		
伊豆原会長	<p>皆さま、明けましておめでとうございます。</p> <p>年明け早々、大変な事態が起きております。何とか皆さまが安心して暮らせるような社会になっていくと良いなと思っております。</p> <p>昨年ですが、交通分野でいくと、菅さんが最初に口火を切ったライドシェアですが、実は私の住んでいるところでも、あるおばあさんからライドシェアとは何だという質問を受けました。</p> <p>テレビでもやっていますので、ライドシェアという言葉が世の中で広まっています。</p> <p>そういう状況にあって、本日、運輸局の方にも来ていただいておりますが、国も方向性の部分が少し見えてきたという状況であります。</p> <p>いわゆる人の移動に対するサービスをどうするかという問題だと思います。</p> <p>みよし市においても、後で報告があると思いますが、おでかけタクシーの実証実験をしていただいております。</p> <p>市民の方が移動に対してどう考えているか、実はいろいろな立場の方がいるため、すべての方に100点満点というわけにはいかない部分が多いと思っております。</p> <p>私たちは、その100点満点を何とか取りたいがゆえに努力をするわけですが、すぐに100点満点が取れるわけではなく、そのジレンマを抱えながら、少しでも皆さまの生活の足しになれるような仕組みを考えていくというのが、この会議の趣</p>		

	<p>旨だと私は思っていますので、どうぞ今年も皆さまのお知恵を借りながら、みよし市の公共交通といえますか、市民の皆さまの足をいかにして上手に確保していくかというのを考えていただけたらというふうに思いますので、よろしくお願ひします。</p>
<p>典 礼 近藤都市計画課長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>本日の議事に入るまでの進行役につきましては、私、都市計画課長の近藤が務めさせていただきます。</p> <p>本日の会議につきましては、みよし市附属機関の設置及び運営に関する要綱の規定に基づき、公開とさせていただきます。</p> <p>なお、本日は3人の方が傍聴される点、御報告させていただきます。</p> <p>また、現在の出席委員は18人で、委員の半数以上に御出席いただいております、本会議要綱第5条第2項の規定を満たしておりますので、本会議は成立していることを御報告させていただきます。</p> <p>なお、本日は、伊藤委員、原田委員、石屋委員、村松委員から御欠席の御連絡をいただいておりますので、御報告させていただきます。</p> <p>それでは、議事にまいりたいと思いますが、協議事項2の資料につきましては、本日机上配布させていただきますので、よろしくお願ひいたします。</p> <p>会議の進行は、本会議要綱第5条第1項の規定により、会長が議長を務めることとなっておりますので、伊豆原会長お願ひします。</p>
<p>伊豆原会長</p>	<p>それでは、お手元の次第に沿って議事を進めていきます。</p> <p>本日は、協議事項が2件、報告事項が4件、それからその他として各委員からの情報提供のお時間を設けさせていただきます。ぜひ活発な議論をしていただきたいと思ひますので、よろしくお願ひします。</p> <p>はじめに、協議事項(1)令和5年度生活交通確保維持改善事業の事業評価(案)について事務局より説明をお願ひします。</p>
<p>事務局</p>	<p>都市計画課の森から資料説明をさせていただきます。資料1を御確認ください。</p> <p>こちらは、さんさんバス路線を持続可能な路線として維持していくため、国から補助を受けるにあたり、路線に対する事業評価を行うこととなっていることから、協議いただくものです。</p> <p>なお、評価は令和5年のバス年度で、期間としては令和4年10月から令和5年9月までになり、事業評価としてお示しする路線は、フィーダー系統のくろまつラインのみとなります。</p> <p>地域間幹線系統のいいじゃんライン、さつきラインについては、愛知県がとりまとめ、事業評価を行いますので、よろしくお願ひします。</p> <p>それでは資料1-1と参考として資料1-4、1-5を御確認ください。</p> <p>資料左から順に、①補助対象事業者は、さんさんバスの運行事業者である愛知つばめ交通さんを記載、②事業概要は、福田明知線、いわゆるくろまつラインの路線名を記載、③には前回の事業評価結果の反映状況を記載しています。</p> <p>上段の評価結果、期待する取組は、資料1-4の裏面にあります、令和4年度事業に対する二次評価結果を転記していますが、利用促進や安全対策に向けたイベントを商業施設やさんさんバス及び市内を運行する事業者間の連携が深まることを意識して取り組まれるよう期待します、という助言をいただいております。</p> <p>助言に対する反映状況としては、令和4年10月に名鉄バスと東郷町と連携した利用促進イベントをイオン三好で実施したほか、3月の第3日曜日を「さんさんバスの日」と制定し、令和5年3月に促進イベントや安全対策を目的とした乗り方教室を実施したことを記載しています。</p> <p>また、市内の公共交通を持続可能な移動手段として維持していくため、市内で運行する名古屋鉄道、名鉄バス、愛知つばめ交通の3者と意見交換を行う事業者連絡会を新たに組織したことを記載しています。</p> <p>④事業実施の適切性については、運休もなく事業計画どおりの運行が実施されたことを記載しています。</p> <p>⑤の目標・効果達成状況については、資料1-5も御確認いただければと思ひますが、目標利用者数71,000人に対し、実績は63,403人で未達成でありました。</p>

分析としては、令和4年4月の路線再編以降、月別利用者数は増加傾向にあるものの、新型コロナウイルスが5類感染症に移行される令和5年5月までの間、利用が伸び悩んだことが未達成となった一つの要因と考えております。

一方で、令和5年4月以降の月別平均利用者数は約5,800人で前年度比プラス1,000人の増加があることや、乗継ポイントにおいてイオン三好への乗り継ぎが全体の9割以上を占めることから、本路線が市中心部への移動手段、幹線系統への乗継手段として役割を果たしていると考えている点を記載しています。

⑥の事業の今後の改善点としては、新たに組織した事業者連絡会での意見交換を一層活発化させ、利用促進を図るほか、今般課題となっている運転手不足解消に向けた検討なども行なっていくこと、多くの路線が結節する商業施設等において、隣接自治体と交通事業者が連携した利用促進イベントを実施し、マイバス意識の醸成を図ること、特にくろまつラインが走っている南部地域の小学校を対象に乗り方教室を実施し、乗車機会のなかった人の関心を高め、家族での利用者数を増加させることを記載しています。

資料1-2に移りまして、こちらはくろまつラインが走る地域の交通の目指す姿として、地域公共交通計画を基に運行目的を記載しているほか、商業施設が集積する市中心部への移動手段、また鉄道駅のある北部地域を通る地域間幹線の結節点までの移動手段として必要な路線であることを記載しています。

次に資料1-3を御確認ください。

こちらは、本路線の事業評価に際し、有識者の方から評価、御助言をいただく第三者評価委員会に提出する書類となります。

こちらは、昨年度もお示ししていますが、第三者評価のほか、市民の方などに事業概要を説明する資料としても活用しています。

先ほどの資料と重複する内容がありますが、まず1ページ目では、交通会議の設置、くろまつラインに対する計画等について記載しています。

2ページ目では、市の概要、交通計画で定める公共交通の目指す姿、基本目標を記載し、右側では路線の位置付けを記載しています。

3ページ目では、令和4年4月の路線再編により、新たにフィーダー系統のくろまつラインが運行していることから、バスマップを用いて表記しています。

4ページ、5ページ目では目標達成に向けた具体的な取組として、四つあげています。

①は、前述した路線再編の実施により、利便性が向上したこと、乗継ポイントを設け、長大路線を解消したことで遅延率が減少した点などを記載しています。

②は、待合環境の整備として、乗車数が多く道路幅員を確保できるバス停に雨よけ及びベンチを設置したほか、バス停周辺が暗い場所にソーラーライトを設置するなど改善した点を記載しています。

③は、さんさんバスの日を制定し、マイバス意識の醸成、利用機会の創出を図り、結果当日は日曜日の利用平均の約2.2倍の利用があったことを記載しています。

④は、市内交通事業者連絡会を組織し、持続可能な移動手段の維持のため、意見交換を二度実施したことを記載しています。

また、この連絡会のほか豊明市、日進市、長久手市、東郷町、みよし市で構成される尾三地区自治体でも既に広域公共交通推進会議を組織し、定期的な意見交換やイベント実施をしている点を記載しています。

6ページ、7ページ目では、計画の目標の達成状況と考察を記載しております。

6ページでは、交通計画の評価指標の結果になりますが、市内公共交通の年間利用者数で、こちらは会計年度になりますが、目標3,170,000人に対し、実績は2,552,740人、達成率80.5%で未達成、さんさんバスの年間利用者数は、こちらが会計年度での目標ですが、318,000人に対し284,632人、達成率90%で未達成となっています。

なお、考察にも記載のとおり、令和5年度に入り、月別利用者数が前年度比プラス5,000人となっており、令和4年10月から令和5年9月までのバス年度でみると、317,065人で次年度以降目標を達成する見込みとなっています。

	<p>バス停・乗降場の行き先案内や時刻表の見やすさの不满割合は昨年度調査結果になりますが、未達成となっています。</p> <p>乗り方教室は年間計3回実施しており、目標達成となっています。</p> <p>続いて7ページですが、くろまつラインの評価を行っております。こちらはバス年度での目標になりますが、先ほどの資料でお示ししたとおり未達成となっております。考察も同様の記載となっております。</p> <p>8ページに移りまして、目標達成に向けた今後の取組方針についてですが、大きく二つの課題に対して取り組むこととしています。</p> <p>まず一つ目は、利用者数が目標に達しなかった点について、乗り方教室の更なる実施ということで、くろまつラインが走る南部地域の小学校での乗り方教室の実施、尾三地区、交通事業者、商業施設が連携した広域イベントの実施を行う予定としています。</p> <p>二つ目の行き先案内や時刻表の見やすさに対する不满割合が目標に達しなかった点について、バスロケーションシステムの活用促進として、周知のため利用パンフレットを利用者に配布するほか、行政区回覧等も行い、アクセス回数の増加を図るほか、わかりやすい表示のため、交通結節点において案内看板を設置、また、照明等により見やすいバス停に整備していく予定としている点を記載しています。</p> <p>9ページに移りまして、二次評価結果の活用・対応状況になりますが、先ほどの資料と同じ内容のため、説明は割愛させていただきます。</p> <p>最後に10ページでは、計画・評価の推進体制として、計画で定めるPDCAサイクルに沿って実施している点を記載しています。</p> <p>以上が資料1の説明になりますが、本日資料1-1から1-3までの内容について御承認いただいた後、1月中旬までに国へ資料提出することを予定しております。協議のほどよろしくお願ひします。</p>
伊豆原会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>令和5年度の生活交通確保維持改善事業について説明をいただきました。</p> <p>こちらは国の補助事業ですが、自己評価をした後に、国へ今月の19日までに提出することになっているかと思ひます。</p> <p>これについて御質問、御意見などでも結構ですが、ございましたらお受けしたいと思ひます。いかがでしょうか。</p>
久野委員	<p>乗り方教室が南部地域の小学校においてなされたということですが、福田方面といひますか、三吉小学校は実施しなかったわけですが、その辺りの理由を教えてくださいたいです。できれば両方やっていた方が良かったではという気がしますが、いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>昨年度に引き続き、御依頼いただいた中部小学校のみで実施したわけですが、先ほど御説明した南部地域での乗り方教室の実施につきましては、今後の改善点として記載させていただいています。来年度以降、三吉小学校や南部小学校に対して積極的に市から依頼をしていきたいと考えております。</p>
久野委員	<p>ぜひ該当のところはやっていただけると良いかと思ひます。</p> <p>また、人数も14人だったかと思ひますが、人数的なことも少し配慮いただけると良いかと思ひました。</p>
伊豆原会長	<p>こういった取組は、何回やってもいいわけで、いろいろなPRをしていただくことが大切かと思ひます。</p> <p>他にいかがでしょうか。</p>
松本副会長	<p>重要なのは、PDCAが流れていることだと思ひていますが、資料1-3で、Plan、Do、Check、Actということで、それぞれをふまえた形で作られていますので、よろしいかと思ひております。</p> <p>一方で、国様式の資料1-1の今後の改善点ですが、基本的には資料1-3の8ページのAct、いわゆる今後の改善点について、基本的に整合はとれていますのでよろしいですが、国様式で乗り継ぎの役割を果たすことができているという点について、イオンでの乗り継ぎが記載されていると思ひますが、評価としてはBになっていますので、改善点という意味で、おそらく8ページの乗り換え案内標</p>

	<p>識等のわかりやすい表示ということが記載されていますので、この内容を国様式にも入れても良いかと思いましたが、いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。 そのように国様式の資料1-1にも追記をさせていただき整合性をとらせていただきます。</p>
松本副会長	<p>修正ということでよろしくお願いします。</p>
伊豆原会長	<p>第三者評価委員会が来月の中旬に予定されており、19日までに書類を提出して評価委員の運輸局行政委員の方と、アドバイザーである先生からアドバイスをいただき、こういう仕組みになっております。 みよし市は初めて路線について評価をいただくと思います。 そういう意味で、松本副会長が言われたように、めりはりのある説明をされていくべきかと思えます。また、努力してるところを説明いただくことも大切だと思います。 特に皆さまにも御確認いただいたとおり、実はさんさんバスの目標値318,000人とありますが、本年度の会計年度といえますか、この年度でいけばおそらく達成できると思いますが、この数値は過去最高になると思います。 そうであれば、私は過去最高の数値であるという表現を入れていただいても良いかと思えます。 みよし市の場合、多くの市民の皆さまに御利用いただいておりますが、コロナの状況から、かなり早く回復、復調していますので、そこは委員の皆さまにも分かるように、また市民の皆さまにも分かるように表現していただいても良いかと思えます。 他に何か付け加えるような点、または修正点や感想でも結構ですが、よろしいでしょうか。 おそらく第三者評価委員会が終わりますと、年度内に評価委員からの評価コメントが届くと思いますので、年度内、または年度明けに、皆さまに共有できるかと思えますのでよろしくお願いします。 他に御意見等ないようですので、松本副会長からいただいた内容について、追加、修正等させていただいて、19日までに提出ということにさせていただきたいと思えます。修正については、大変申し訳ありませんが、事務局と会長、副会長で確認、調整の上、提出させていただくということで御承認いただけたらと思えますが、いかがでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">【委員承認】</p> <p>ありがとうございました。そのような形で進めさせていただきます。 それでは次に移ります。 協議事項(2)みよし市地域公共交通会議の設置に関する規約及び会計規約(案)等についてですが、こちらはまず概要について愛知運輸支局さんから説明をお願いします</p>
宮川委員	<p>愛知運輸支局の宮川と申します。今年もよろしくお願いいたします。 今回の議題に関するところの制度や背景について簡単に説明をさせていただきます。 先ほど、事業評価案の確認をしていただいたところではありますが、まず国の補助制度につきまして、これまでコミュニティバスだとか、民間の路線バスだとかについては、運行に対し赤字が出た場合、その分を補助している過去があります。 そうした中、伊豆原会長から交通会議において、みよし市の人の移動をどうするか皆さままで考えていきたいと思いますというお話がありましたが、国も公共交通を支えるという考え方について、地域みんなでどのような取り組みをするのか、実際に取り組みをしたことについて、かかった費用や努力について補助金を交付し、支えていくというような考え方に順番に変わりつつあります。 一方で、変わったこととしては、後ほど報告事項にもありますが、地域公共交通計画にみよし市の公共交通をどう作り、維持していくといった点について、補</p>

	<p>助金をもらうさんさんバスがどのような路線で必要があるのか、また支えていくためにこのような取り組みをしています、だからこの取り組みについて国でも支えてくださいというようなことを計画に記載いただき、宣言していただくことで、国からも具体的には補助金という形で御支援を差し上げるというような仕組みに、少し経過措置がありましたが、来年度申請から明確に切り替わることになります。</p> <p>そのため、今お話しした点に対応するよう、計画に盛り込んでいただくとともに、この補助金につきましては、今までは運行事業者にお支払いするような形でしたが、特にフィーダー系統、いわゆる市内で完結するようなコミュニティバスなどに関しましては、一度この公共交通会議に補助金を支払い、そこから経費にに応じて運送事業者や或いはバスの利用促進などのイベントをやった際に補助金が出た場合、経費に充てていただくというような仕組みに変わっております。</p> <p>その関係もあり、会計規則を作っていただく必要が生じております。</p> <p>また、補助金の関係ではありませんが、コミュニティバスなど協議運賃で運行している場合においては、運賃設定にあたりカルテルなど、公正取引の関係で問題が生じるのではという指摘があり、公共交通会議ではなく、限られた最低限の関係者のみで協議をして決定していくことをお願いしているところになります。</p> <p>この内容が、このあと御説明のある運賃協議会の規約にかかってきます。</p> <p>事務局の方で、補助の連動化に関するパンフレットや乗合事業に関する協議運賃の取扱いパンフレットを御用意いただいておりますので、お時間のある際に一度御確認いただければと思います。概要については以上となります。</p>
伊豆原会長	ありがとうございます。それでは、事務局から説明をお願いします。
事務局	<p>それでは資料2-1、2-2、2-3を御確認ください。</p> <p>こちらは、先ほど宮川委員から御説明いただいたとおり、令和7年のバス年度から、この会議体において協議事項1でお示ししたフィーダー系統の補助金等の申請や交付について、また協議運賃の取扱いが変わる点をふまえ、新たに会議規約等を定めるにあたり、協議いただくため、お示しさせていただいており、全ての規約は令和6年4月1日から施行する予定で動いております。</p> <p>それでは順に説明をさせていただきます。</p> <p>まず、資料2-1ですが、こちらは会議の設置に関する規約になります。</p> <p>現在、附属機関として位置付けていた本会議ですが、より主体性をもって公共交通を推進等していくため、附属機関から外す形で動いており、本会議に必要な事項を新たに規約として定めています。そのため、附属機関から外すため、並行で条例改正の手続きも行っております。</p> <p>それでは、内容の説明となりますが、第2条の設置目的としては、道路運送法及び地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づいたものであることを明記しています。</p> <p>第3条の協議事項としては、公共交通のあり方や交通政策の策定及びその推進に関する事、地域の実情に応じた適切な旅客運送の態様に関する事、地域公共交通計画の作成などを明記しています。</p> <p>第4条の出席者は、法律等で定める必要な関係者の方を明記しています。</p> <p>第5条の役員としては、今までの会長、副会長の役職に加え、新たに会計監査を行う監事を設けております。会計については、次の資料で説明させていただきます。</p> <p>第6条の会議については、会長が招集する点や会議開催には委員の半数以上の出席が必要である点を明記し、議事については原則全会一致とすることを明記しています。</p> <p>第7条の事務局は、地域公共交通担当課としています。</p> <p>第8条で会計について明記しており、別に定める規約が資料1-2になりますので御確認ください。</p> <p>新規作成した規約案になりますが、会計規約の第1条では趣旨を明記し、第2条の予算では、歳入歳出のほか、会計年度を4月1日から翌年3月31日までとし</p>

	<p>ている点を明記しています。</p> <p>第3条から第5条までは、予算についての詳細内容を明記しています。</p> <p>第6条の出納、現金等の保管について、第7条では、会長の命により、事務局職員から出納員を担うことを記載しており、基本的には出納員が事務を行うこととなります。</p> <p>第8条では、出納の管理のため、予算整理簿などを用意することとしており、資料3枚目以降が整理簿等になっています。</p> <p>第9条では、決算として監事の監査結果を報告する点を明記しています。</p> <p>第10条は、公印の取扱いについてですが、今後会計をもつ点、また文書発送時に公印が必要となるため新たに作成することとしています。</p> <p>以上が資料2-2になります。最後に2-3を御確認ください。</p> <p>こちらは、運賃料金協議会の設置に関する規約になりますが、国が示しているモデル要綱を参考に新規作成しました。</p> <p>第2条で設置目的、第3条で協議事項を記載していますが、先ほど宮川委員から御説明いただいたとおり、本協議会では運賃等に関することを協議する形になります。</p> <p>第4条の協議会の構成員は(1)みよし市長又はその指名する者(2)当該運賃等を定めようとする旅客自動車運送事業者(3)中部運輸局愛知運輸支局長又はその指名する者(4)住民又は利用者の代表者としています。</p> <p>第5条では協議会の運営について明記し、第6条では協議結果の取扱いについて明記しています。本協議会で協議が整った事項については、地域公共交通会議で報告することとしております。</p> <p>以上が説明となります。今後文言修正等させていただく場合がありますが、その際は会長と調整させていただいた上で実施させていただければと考えています。</p> <p>内容について、協議のほどよろしくお願ひいたします。</p>
伊豆原会長	<p>少しわかりにくいかもしれませんが、今まではフィーダー系統の補助金について運行事業者の愛知つばめ交通さんに直接、国から補助金がおりましたが、ルールが変わりまして、令和7年度の申請以降はこの交通会議、いわゆる法定協議会と呼んでいます。活性化再生法に基づき設置された協議会に補助金がおきる仕組みとなりました。</p> <p>それに伴って、新たに規程などの作成が必要になったというわけです。</p> <p>それからもう一つは、協議運賃と呼んでいます。乗合事業では皆さままで協議してさんさんバスの運賃を決めてきたわけですが、そのルールが道路運送法の改正によって、四つの代表委員の皆さままで協議して決めていくということになりました。</p> <p>そうした背景があるということをお理解いただいた上で、御質問等お受けしたいと思いますが、いかがでしょうか。</p>
宮川委員	<p>運賃協議会について、少し補足説明をさせていただきます。</p> <p>協議会の構成員として、四つの方が並んでいるわけですが、(2)の当該運賃等を定めようとする旅客自動車運送事業者については、現在は愛知つばめ交通さんがコミュニティバスの運行事業者として運行いただいています。もし他の運送事業者さんが同じ運賃を使うという話になった場合は、その事業者ごとに別の協議会を開催していただき、複数の運送事業者が入ることがない形になっています。</p> <p>そうは言っても、協議会にかけられただけで決定してしまうと利害関係者の意見が反映されない可能性もあるため、あらかじめ利害関係者から意見を伺うという流れになりますのでよろしくお願ひいたします。</p>
伊豆原会長	<p>他に意見等ないようですので、皆さまの御承認をいただいたということで進めさせていただきます。よろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">【委員承認】</p> <p>ありがとうございます。今後、市の総務部局等とも調整しなくてはならないと思います。その部分の調整については、事務局と会長に一任いただければと思いますのでよろしくお願ひいたします。</p>

	<p>6月の補助申請までには、この組織を設置し、国に認定いただく必要がありますので、よろしくお願ひいたします。何かありましたら、支局の皆さまにおかれは、御相談にのっていただければと思います。</p> <p>それでは報告事項に移ります。</p> <p>報告事項(1)「おでかけタクシー実証実験」について事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>こちらは前回の会議で承認いただき、すでに12月1日から実証実験を開始しているおでかけタクシーについての報告となります。</p> <p>資料3-1は、利用案内パンフレットになっておりますが、1枚めくっていただくと、実験の目的、背景、実験期間、対象者等を記載しております。</p> <p>こちらについては、前回の会議で協議いただいた内容から、変更はしていませんので、説明の方は割愛させていただきます。</p> <p>資料の3-2は、アンケート用紙になっていますが、アンケート結果と併せて説明をさせていただきます。</p> <p>次に、資料の3-3になりますが、こちらはおでかけタクシーの新聞記事になっています。朝日新聞、中日新聞に掲載いただいたほか、その他市からの周知方法としましては、広報みよし11月号、ホームページ、行政区回覧、いきいきクラブなどでの説明を行っております。</p> <p>次に資料3-4を参考として、事前に送付させていただきましたが、机上に速報値の実績、アンケート結果を御用意させていただきましたので、こちらを御確認ください。その際、資料3-2も併せて御確認ください。</p> <p>速報値の集計となるため、分析はまだできていませんが、現時点での結果として見ていただけたらと思います。</p> <p>まず、利用者数の速報値についてですが、こちらは1か月分の実績になっています。合計で130件の予約の電話があり、それに対して124件成立する形となっているため、成立割合としては、95%となっています。</p> <p>予約をされた方の内訳としては、65歳以上が87人、障害者が35人、要介護が2人となっています。</p> <p>1枚めくっていただくと、アンケート結果の速報値を記載しています。</p> <p>取りまとめを1月5日に行ったため、すべての結果が反映されているわけではありませんが、事業者別では愛知つばめ交通の利用が103件、名鉄東部交通の利用が13件となっています。</p> <p>次に、利用された時間帯についてですが、午前中の利用が多く、10時台が全体の31%、11時台が20%、12時台が15%となっています。</p> <p>対象区分については、65歳以上の割合が60%を占めている形です。</p> <p>利用回数については、初めての方が44人、複数回利用の方が52人、全体で半分の数字となっています。</p> <p>利用方法としては、片道の利用が73%となっています。</p> <p>片道利用の場合は、行き、帰りの交通手段については、65人のうち、35人の方がタクシーを使っているということで、おでかけタクシーではなく、一般タクシーを使ったものだと考えています。</p> <p>次に、運賃についてですが、全体として1,000円から2,000円台での利用が約半数を占める形となっております。</p> <p>それに応じて利用距離についても、1キロから3キロの間での割合が高い結果となっています。</p> <p>資料をめくっていただくと、利用者記入欄のアンケート結果になっています。</p> <p>Q1のお住まいの地域については、なかよし地域、おかよし地域の利用が多い形となっています。</p> <p>Q2のバスの利用が困難な理由につきましては、バス停までの移動が困難という方が65%を占めています。</p> <p>Q3のおでかけタクシーがなかった場合、今回の移動に何を使っていたかという問いに対しては、一般タクシーを使う方の割合が65%、家族知人の送迎が12%となっています。そして、おでかけしなかったという方が2人いる形になってい</p>

	<p>ます。</p> <p>Q4の希望する時間帯に乗車できたかという問いについては、乗車できたと答えた方が全体の92%という結果になっています。</p> <p>Q5の利用目的についてですが、一番多かったのが通院・お見舞いで64%、次に買い物・飲食が30%となっています。</p> <p>Q6の外出する機会、頻度の変化については、増えたという方が35%、やや増えたという方が22%、変わらないが20%、まだ分からないと答えた方が23%となっています。</p> <p>まだ分からないという点については、クロス集計など正確にできておりませんが、初めて利用された方などは、まだ分からないと答えている傾向にあると考えております。</p> <p>Q7の外出範囲の変化については、広がったと答えた方が38%、やや広がったと答えた方が21.2%となっております。</p> <p>Q8は、おでかけタクシーによる生活の充実についてですが、充実したと答えた方が45%、やや充実したと答えた方が25%となっております。</p> <p>Q9の生活に必要なサービスになるかという問いについては、必要であると答えた方が90%、あれば使う程度であると答えた方が10%となっています。</p> <p>最後のページに移りまして、Q10のおでかけタクシー利用時の課題については、複数回答可能ですが、予約がとりにくい、利用可能な時間帯が短い、土日が利用できないと答えた方が多い結果となっております。</p> <p>その他自由記入欄として記載いただいた内容ですが、時間を午前9時から始めてほしいというような要望もいただいております。</p> <p>以上が報告となりますが、2月末まで実証実験が続きますので、今後も分析を行い、本会議でお示しできるようにさせていただきたいと考えております。</p> <p>説明は以上となります。</p>
伊豆原会長	12月1日から実証運行しており、速報値ですが12月の実績報告をいただきました。何かご質問等ございましたらお聞きしたいと思いますが、いかがでしょうか。
夫馬代理	予約の不成立が6件ありますが、不成立の理由を教えてください。
事務局	不成立の理由としては、一般タクシーの予約で既に埋まっており、おでかけタクシーの予約をした際に、空きタクシーがない状況であったため、不成立となっております。
夫馬代理	<p>ありがとうございます。それが6件ということですね。</p> <p>また、アンケート結果のQ4で希望する時間帯で乗車できたかという問いで、予約できず、他の時間帯に変更し乗車した方が5件、それから予約できず、別日に変更し乗車した方が4件あると思います。</p> <p>この集計は、1月5日に取りまとめられたとのことですが、12月の全ての利用者からの回答ということでしょうか。</p>
事務局	こちらは、12月20日頃までの利用結果を先に集計し、分析をした結果となっております。
夫馬代理	そうすると、先ほど不成立が6件ありましたが、ここでは9件あるというのは、何か理由があるのでしょうか。
事務局	予約を変更して乗車いただけた場合は、集計上は成立していることになっていますので、件数に相違がある形となっております。
宮川委員	<p>愛知運輸支局の宮川です。</p> <p>アンケートの利用者記入欄のQ1について教えていただきたいのですが、なかよし地域、きたよし地域など4地区あって、それぞれの割合が出ていますが、利用を想定されている75歳以上の方などの人口配分がおおよそこんな感じになっているのでしょうか。それとも、それとは乖離があるのでしょうか。</p>
事務局	おかよし地域の利用割合が約35%と高い結果となっておりますが、今のところ他の地域よりも高齢化率は低い状況でありながら、利用割合は高い結果となっておりますので、高齢化率と一致はしていない形となっております。

	<p>こちらの分析については、今後しっかりと分析をしてお示しできたらと考えております。</p>
増岡委員	<p>高齢者施策という考えで、私もこの数字を見て、65歳以上の利用者が多いということで喜んでおります。</p> <p>あくまで実証実験という名目だと思いますが、これだけの利用者あって、高い評価がされていますが、将来展望はどのようにお考えでしょうか。</p>
事務局	<p>後ほど、報告事項で次年度計画をお示しさせていただきますが、現在1回目の実証実験を実施中ですが、来年度も引き続き対象などを変えながら実証実験を行いたいと考えております。</p>
宮川委員	<p>予約数を見ると、一日あたり10件未満が多いですが、12月6日など他の日より倍近く予約がある日があると思います。</p> <p>この件については、何か把握されていますでしょうか。</p>
事務局	<p>特に大きなイベントがあった認識はありませんが、65歳以上の方が極端に多いという結果となっていますので、その点については再度確認をさせていただきたいと考えております。</p>
宮川委員	<p>あらかじめ、何か多くの利用が想定されるようなイベントがある場合は、データ化しておくことと配車において配慮ができるかと思いましたが、参考意見としていただければと思います。</p>
松本副会長	<p>やはり今の時代、こういったサービスが望まれていて、そのニーズに対する対策ということで喜ばしいことだと思いつつも、本来の目的を考えると、バスの利用が困難で外出を控えている市民の新たな外出促進策となっています。</p> <p>アンケート結果をみると、おでかけタクシーがなかったらどのように移動していたのかという問いに対しては、名鉄バスは0件となっています。</p> <p>そのため、名鉄バスが使える方でおでかけタクシーを使ってる方はいないということです。</p> <p>一方で、さんさんバスに関しては14人いますので、この方々は本来さんさんバスを御利用いただければよかったと思っています。</p> <p>ただし、これは多くないので許容範囲だとは思っています。</p> <p>さらに、効果という意味では、おでかけタクシーがなかったら出かけていなかった方が2人いるので、この2人にとって非常に重要な施策になったと思います。</p> <p>それから、家族、知人の送迎という点についても、おでかけタクシーによって送迎しなくて済むこととなりますので、これも良かったと思います。</p> <p>そうした点では、良い結果だと思いますが、気になるのは一般タクシーですね。</p> <p>一般タクシーで移動していた方が、料金が安くなったので、このおでかけタクシーで移動するようになったと読めてしまいますので、この点が公共サービスとしてふさわしかったのかが気になります。</p> <p>一方で、おでかけタクシーの利用により、外出する機会が増えたか、外出の範囲が広がったか、生活は充実したかの結果を見ると、肯定的な意見が多い結果となっています。</p> <p>すなわち、一般タクシーから需要が移った可能性はあるものの、それ以外の効果が結構ありそうだとということで、ここに税金を投与した意味はあり得るとも読めています。</p> <p>おそらく、最終的には税金の投入に対する効果を検証していく必要があると考えています。</p> <p>あとは、一般タクシーへの影響もしっかりとらえていただいて、ものすごく大きな影響があるということであれば、そこは考えていかないといけないという気がしております。</p> <p>以上、感想でございます。</p>
伊豆原会長	<p>私も気になったのが、10時台の利用についてで、この時間帯の利用がどんどん増えてくると、配車の問題も出てくると思います。</p> <p>難しい調整がいるかもしれませんが、タクシー事業者さんと上手に棲み分けをしながらやっていくと良いかと思えます。</p> <p>来年度以降についても、しっかり押さえ、協議をし、話し合いをしながら進め</p>

	<p>ていただけると良いと思います。よろしくお願いします。 タクシー事業者さんから何か現状について御発言いただけますか。</p>
山口委員	<p>愛知つばめ交通の山口です。よろしくお願いいたします。 登録不要の事業ということで、非常に不安と期待の気持ちがある中で、スタートしたわけですが、大きな問題なく病院やスーパーといった利用が多い状況となっています。 今後もしっかりと努めさせていただきたいと思っております。</p>
加藤代理	<p>先ほど松本先生からの御意見で一般タクシーから移った人がいるのではというお話がありましたが、やはり傾向としては若干あると考えています。 利用時間帯ですが、10時台が一番多くなっています。実際のタクシーの利用実態を見てみると、8時台、9時台が本当は一番ピークとなっています。今回の実証実験は、そのピークを外していただいているので、運行がやりやすいです。 一方で、おそらく利用者としては、病院の予約の時間などを考えると9時台の要望も出てくると思います。 お客様目線、事業者目線で考えていくのは難しいと思いますが、今後の進展を見ていただきたいと思います。</p>
松本副会長	<p>まさにおっしゃる通りで、みよし市の良かったのは、時間帯を10時からにしたことだと思います。 早い時期からタクシー事業を導入している近隣自治体では、予約の不成立がすごく高い結果となっています。 一般タクシーのピーク時間が重なってしまいますので、なかなか予約ができない状況となっています。 ただ、今後間違いなくニーズとして時間帯を早めてほしい、それから市外まで運んでほしいというニーズが出てきます。 目的を明確にして、おでかけタクシーはこういう方々のためのタクシーだということの説明しながら対応してもらう必要があるかと思っています。 要望は広がっていきますが、税金で対応するサービスとして、何がふさわしいかを考えてやっていただく必要があるかと思っています。そうすると、すごく良いサービスになると思いますので、期待したいと思います。</p>
伊豆原会長	<p>おでかけタクシーについては、後ほど次年度計画でも説明をいただきたいと思います。報告事項としてまず結果を報告いただきました。 実証実験は2月末まで続きますので、アンケート結果を分析いただきたいと思います。 それでは、次の報告事項に移りたいと思います。 (3)みよし市地域公共交通計画の一部変更について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>資料4-1を御確認ください。 こちらは、先ほど宮川委員から御説明いただいた内容と関連していますが、前回会議でさんさんバス路線に対する補助を受けるにあたり、補助要件を満たすため、みよし市地域公共交通計画の一部変更案をお示しし、承認をいただきました。 その変更案について、国から2軽微変更内容のとおり、修正指示がありましたので、報告をさせていただくものです。こちらは文言の軽微変更になるため、再度協議は不要であることを支局に確認済みです。 変更内容としては、二点で目標指標の基準値のデータ取得方法の記載を修正、また市内を走る名鉄バスのうち、地域間幹線系統が星ヶ丘豊田線のみであるため、路線名を追記した形となっています。詳細はお時間のある際に資料4-2を御確認ください。 こちらは報告事項となるため、以上が説明となりますが、今後は計画冊子の印刷や必要な手続きを踏み、3月に正式に変更させていただきますのでよろしくお願いします。</p>
伊豆原会長	<p>こちらは、前回会議において協議いただいた内容になりますが、支局からも御説明を願えますか。</p>

<p>宮川委員</p>	<p>前回会議において、皆さまに御確認いただき、その時にこちらの方も詳細部分までお話ができていれば一度で終わったお話ではありますが、事務局と最終確認をする中で、もう少し書き込んでいただいた方が良いのではということで、記載をお願いいたしました。</p> <p>修正内容については、資料に記載のとおりですが、計画内容、補助対象路線等が変わったわけではございません。</p> <p>補足説明のデータ分析方法等でもう少し追加の説明をしていただいて、より完全に近づけたというところになりますので、計画自体に変更はないという意味で協議までは必要ないとお話をさせていただきました。</p> <p>このような形で、追記をしたという点について、御確認、御認識いただけたらと思っております。</p>
<p>伊豆原会長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>整合性のところをデータも含めて、整理いただいたということでした。</p> <p>実は、補助金との関連がありまして、この計画を先ほど申し上げたように6月の申請時まで整理をいただく必要がありますのでよろしくをお願いいたします。</p> <p>それでは、次の報告事項に移ります。(3)公共交通利用促進イベントの実施について、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>資料5についてですが、一部追記した部分がありますので、机上配布の資料と差し替えをお願いいたします。</p> <p>資料左側が実施報告、右側が実施予定のイベントとなっています。</p> <p>まず左側の報告になります。</p> <p>10月2日に実施した中部小学校2年生に対する乗り方教室についてですが、こちらは昨年度に引き続き依頼いただき、生活科の学習活動の一環として、自分たちの生活を支える公共交通の役割に気づくきっかけづくりとして実施しました。</p> <p>実施にあたっては、さんさんバス運行事業者の愛知つばめ交通さんに御協力をいただき、車両の装備、車椅子の方でも利用可能である点を、実際にスロープを用意して説明するなどなど、バスの役割を知ってもらう機会となりました。</p> <p>続いて、産業フェスタへのブース出展ですが、ここではワークショップとして缶バッジ作成、クラフトペーパーの作成などを行い、マイバス意識の醸成を図りました。</p> <p>次に右側の実施予定イベントに移りますが、まず2月4日にバスフェスティバルをイオン三好ショッピングセンターにおいて予定しています。</p> <p>こちらは、初の試みになりますが、みよし市独自のイベントではなく、豊明市、日進市、長久手市、東郷町、みよし市で構成される尾三地区、名鉄バス、愛知県バス協会、愛知運輸支局が主催となり、愛知県、名古屋鉄道、イオン三好ショッピングセンター、そしてコミュニティバス運行事業者に御協力をいただき実施をいたします。</p> <p>目的は、広域的な公共交通の利用促進を図るほか、広域バスマップ等を掲示し、公共交通機関を乗り継ぐことで尾三地区内の移動が可能であることを周知することを考えています。</p> <p>また、バス車両の展示、写真撮影やバス協会さんによるEVバス乗車体験を予定しているほか、イオンさんにも御協力いただき、抽選会やワークショップも行う予定です。</p> <p>最後に3月17日に実施予定の「さんさんバスの日」利用促進イベントについてですが、こちらは昨年度に3月の第3日曜日を「さんさんバスの日」と制定しており、二回目のイベントになりますが、曜日別で最も利用の少ない日曜日にイベントを実施し、今までさんさんバスを利用したことのない人の利用機会を創出すること、マイバス意識の醸成を図ることを目的としています。</p> <p>バスフェスティバル、さんさんバスの日イベントについては、まだ実施内容が全て確定してはございませんので、関係機関の方と連携をとらせていただきながら実施をさせていただきたいと思っております。</p> <p>なお、こちらは次年度の会議で実施報告させていただきますのでよろしく申し上げます。以上が報告になります。</p>

伊豆原会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>来月、再来月に予定しているイベント、それから既に実施いただいたイベントの報告をしていただきました。</p> <p>これについて何か御質問等ございましたらお受けしますがいかがでしょうか。</p>
松本副会長	<p>特に尾三地区といった周辺自治体と連携したこういう取り組みは、すごく皆さま期待されておりましたし、これを実施いただけることを大変うれしく思っています。</p> <p>そうすると、今度はいかにPR、周知するかだと思っておりますが、どんなことをお考えですか。或いはどんなことを既にやられていますか。</p>
事務局	<p>既に保育園にはポスターなどで周知しております。</p> <p>その他報道提供のほか、協力として愛知県さんを記載させていただいておりますが、my routeアプリ、名古屋鉄道さんのCentXでの周知も考えています。</p> <p>また、市の広報誌やホームページのほか、特に今回の対象が小学生や園児になってくるとお思いますので、そこに対してのアプローチは積極的に行いたいと考えております。</p>
松本副会長	<p>良いと思います。子どもたちに発信して、それが親に伝わるのはすごく良い戦略だと思いますが、ちなみに他の自治体でも同じようにやってもらっていますか。</p>
事務局	<p>他自治体でも同様に周知いただいております。展示するバス車両の車内に保育園児が描いたぬりえを掲示予定で、それを依頼する際に合わせて周知しています。</p> <p>当日ぬりえを家族で見に来てもらえたらと考えています。</p>
松本副会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>豊明市や長久手市は少し離れているので厳しいかもしれませんが、東郷町それから日進市からは十分あり得ると思いますので、ぜひ子どもたちも含めて集まってもらえると良いですね。期待しております。</p> <p>それから、去年はさんさんバスの日だったと思いますが、地元の何か別のイベントと重なってしまったかと思いますが、今回は地元の方々にも周知いただいているということによろしいですか。</p>
事務局	<p>完全な周知というところまではできていませんが、バスフェスティバルについては、早い段階で周知はさせていただいております。</p> <p>また、さんさんバスの日については、3月の第3日曜日と制定しているため、なるべく早く周知をすることで調整を図れたら考えていますが、各団体におかれましても御理解をいただけたらと考えております。</p>
松本副会長	<p>ぜひ、委員の皆さま方にもお願いしたいと思っております。3月はイベントが多いかもしれないですね。</p> <p>バスフェスティバルは、今回初めて実施されると思います。</p> <p>尾三地区は五つの市町で構成されているかと思いますが、今後持ち回りだとか何か考えているのでしょうか。</p>
事務局	<p>本年度、尾三地区の幹事市がみよし市となっております。その中で提案をさせていただいた事業となっております。そのため、次年度以降も実施ということになれば、次の幹事市町の商業施設や公共施設など人が集まれるような場所でやっていくことになると思います。</p>
松本副会長	<p>お互いに情報交換しながら、連携プレーをしていただけると大変良いと思います。もちろんみよし市もそうですが、長久手市など他の市町もいろいろな施設があり、活動もされていると思いますので、そういったことも紹介しながら、連携プレーをしていただけると良いと思います。</p> <p>ぜひ、継続してやっていただけると良いと思います。</p>
伊豆原会長	<p>地元の皆さまや関係機関の皆さまもちろんですが、2月4日と3月17日はバスのイベントがあると、ぜひお帰りになったら話題にさせていただけるとありがたいなと思います。話題にさせていただくことは、すごく大切だと思います。</p> <p>それでは、最後の報告事項に移ります。</p> <p>令和6年度公共交通推進事業の事業計画(案)について、事務局から説明いたします。</p>

事務局	<p>資料6につきまして、都市計画課の原田から説明させていただきます。</p> <p>次年度の事業計画案の御報告となりますが、先に2主要な事業案から御説明させていただきます。</p> <p>こちらは、議会議決前であるため、あくまで予定である点、御了承ください。</p> <p>ここでは4事業を記載していますが、①地域公共交通計画改定を行います。</p> <p>現行計画が令和6年度までとなっていますので、次年度中に改定業務を行い、令和7年度から令和11年度までの5か年計画を作成します。</p> <p>次に、②バス停雨よけ及びベンチ設置工事ですが、待合環境整備のため、乗車数が多く、歩道幅員が確保できるバス停に雨よけやベンチなどを設置します。次年度はカネヨシプレイス東、西バス停の各バス停の計4か所に設置を予定しています。</p> <p>次に③さんさんバスの車両更新についてですが、老朽化に伴う故障を防ぎ、安全安心な運行を行うため、バス車両2台を更新します。こちらは、地域公共交通確保維持改善事業の国庫補助金を活用し、購入予定です。</p> <p>なお、下線を引いたEVバスについてですが、本年度にリースでの導入を予定し、予算措置も行なっていましたが、導入予定メーカーの都合で販売がされないこととなったため、導入はできておりません。次年度については、導入はせず他メーカー等の情報も取り入れ、引き続き導入に向けた検討をさせていただきますので、御理解をよろしく願います。</p> <p>次に、④おでかけタクシー実証実験についてですが、2月まで第一期の実証実験を行います。次年度にも時期や内容等を変更し、有効性、必要性、他交通機関への影響等を検証させていただき予定としています。</p> <p>なお、実施にあたっては、既存交通事業者さんとも再度調整をさせていただき、会議の協議事項とし承認をいただいた上で実施をさせていただきたいと考えておりますのでよろしく願います。</p> <p>それでは最後に1交通会議の開催予定を説明させていただきます。</p> <p>先ほど御説明したとおり、地域公共交通計画の改定がありますので、本年度よりも多い計5回を予定しています。</p> <p>第1回は5月頃で、交通計画改定に係るアンケート案について、おでかけタクシー実証実験について、さんさんバス路線の補助を受けるための確保維持改善計画について、交通計画の事業評価案について協議等いただく予定です。</p> <p>第2回は9月頃で、交通計画改定のアンケート結果及び計画の素案についてお示しする予定です。</p> <p>第3回は11月頃で、再度交通計画の素案をお示しする予定です。なお、12月から1月にかけてパブリックコメントを実施する予定です。</p> <p>第4回は令和7年1月頃で、交通計画の素案を再度お示しするほか、本日協議いただきましたさんさんバス路線の事業評価やおでかけタクシーの実験結果をお示しする予定です。</p> <p>そして第5回は令和7年3月頃で、交通計画改定に関する協議、次年度の事業計画案をお示しする予定です。</p> <p>以上が事業計画案になりますが、会議開催日等含め、予定となりますので、今後会長、副会長や関係機関の方と調整させていただき進めさせていただきますのでよろしく願います。以上が報告となります。</p>
伊豆原会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>次年度の事業計画について、あくまで予定ということで御説明いただきました。</p> <p>これについて何か御質問等ございましたらお受けしたいと思います。いかがでしょうか。</p>
松本副会長	<p>細かい話ですが、4月から法定協議会に移行すると財布を持つこととなりますが、予算をどこで決めますか。</p> <p>基本的には、3月に次年度の予算は決めれば良いと思いますが、4月1日に発足するので、タイミングとしては5月の最初の会議でしょうか。</p>
事務局	<p>予算につきましては、先生がおっしゃるように5月頃の最初の会議でお示してきたらと考えています。</p>

	今の予定では、補助金の受け皿として財布を持つイメージとなっています。
松本副会長	規約にも記載のとおり、予算、決算をしないといけないと思います。また、監事の選出もありますので、細かい話ですが、会議の位置付けが変わることで変更点が生じますので気を付けていただければと思います。こちらはアドバイスになります。
伊豆原会長	<p>補助金の交付要綱などを見ても、6月に算定することが多いと思います。そのため、早めに事業者さんとも相談して、どのくらい補助が受けられるかなど、確認、調整をいただくと良いと思います。</p> <p>先ほど御説明いただいた事業を、市の事業としてやるか、法定協議会でやるかは別として、法定協議会どのような位置付けでやっていくかは仕組みを整えていく必要があると思いますので、少し手間はかかってしまいますが、案で良いですが整備していただければと思います。</p> <p>補助金との連動もありますので、少し注意をいただくと良いと思います。他に御意見等いかがでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">【委員意見なし】</p> <p>それでは、他にないようですので、次年度の事業についてはこのような形で進めさせていただきます。よろしく申し上げます。</p> <p>次に、その他事項に移りたいと思いますが、名古屋鉄道さんから情報提供がありますので、よろしくお願いたします。</p>
夫馬代理	<p>名古屋鉄道の夫馬でございます。よろしくお願いたします。</p> <p>お手元に12月13日付のニュースリリースということで、のりものカードに関する資料を配布させていただいております。</p> <p>こののりものカードですが、今回第2弾ということで、第1弾では7月に20団体23種類のカードが発行されています。みよし市さんにも第2弾の時に御参画いただきまして、さんさんバスの図柄のカードを配布させていただいております。</p> <p>本日、第1弾で名古屋鉄道が発行いたしましたのりものカードを配布しております。</p> <p>のりものカードの趣旨としては、先ほどバスフェスティバルの説明時に、こどもに公共交通に馴染んでいただくといったお話がありましたが、私どもも同様でございます。残念ながら公共交通分担率というもの、関東では30%から40%、関西では20%から30%近くとなっておりますが、中京圏、東海圏では約10%ちょっとしか御利用がないという状況でございます。</p> <p>どうしても車が便利ということで、車が運転できなくなってから、公共交通を使おうかといった声もあり、当然そうしてもらいたいのはやまやまですが、なかなかバスに乗ったことがない方が、車が運転できなくなり、バスに乗ろうとしても、今度はバスの乗り方が分からない、鉄道にどうやって乗ろうかといったように、逆にハードルが上がってしまうといったようなことがございます。</p> <p>そのため、小さい頃から、ぜひ公共交通に親しんでいただく、こういったイベント等を通してお子様に馴染んでいただくとともに、のりものカードには、さいころとじゃんけんが記載されています。</p> <p>当然のことながら枚数を貯めていただかないと、遊べないということになりますが、まず第1弾で20団体23種類、今回6団体8種類をこれから順次配布してるところです。</p> <p>リリース原稿の1枚目の裏面にのりものカードの特設サイトが記載されています。そこで順次どこで配っているかなどを公表していますので、ぜひ参考にしていただきたいと思います。</p> <p>ぜひ、みよし市のみならず、愛知県、岐阜県などいろいろなところのにのりものカードがありますので、現地に行って集めていただければと思います。</p> <p>たくさん集めないと遊べないというお話をすると、例えば全種類を一度に配布すれば良いのではといったお話がですが、やはり現地に行ってください、公共交通に親しんでいただくことがメインなため、ぜひ公共交通を利用していただけたと思いますので、よろしくお願いたします。以上でございます。</p>

伊豆原会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>ぜひ、皆さまで話題にしていだければと思います。こういったのは、ロコミがおそらく一番早いと思いますので、ぜひよろしく願います。</p> <p>その他いかがでしょうか。</p>
小林委員	<p>バス協会の小林です。</p> <p>先ほど、みよし市さんから説明がありましたが、急遽バス協会も連携して参加させていただくことになりました。</p> <p>実は、毎年1回利用促進のイベントをしております。昨年度は、知立市の知立駅で記念事業がありまして、そこで連携させていただき、高速バスの体験乗車、それから一昨年は蒲郡でJRのさわやかウォーキングと一緒に参加させていただいて、その時は貸切バス2台の体験乗車ということで、その時はコロナが収束していなかったため、バスの換気性能をPRさせていただきました。</p> <p>今年は、EVバスということで、関心のある大人やお子さんにも楽しみにしておられると思いますので、今回名鉄バスさんからお借りする予定にしていますが、体験乗車を考えております。先ほど広報を多方面にされるということでしたが、ぜひ皆さまにも周知していただきたいと思います。よろしく願います。</p>
伊豆原会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、本日の議事が終了しましたので、事務局にお返しします</p>
<p>典 礼</p> <p>近藤都市計画課長</p>	<p>長時間にわたりありがとうございました。</p> <p>様々な視点から貴重な御意見をいただきありがとうございました。</p> <p>今後もより良い公共交通の実現に向け、関係機関の方々とも調整をさせていただきながら、事業等進めさせていただきます。</p> <p>なお、本日が本年度最後の会議となります。また、皆さまの御任期も3か年の最終年度であるため、今回で終了となりますが、引き続き皆さまには、交通会議の委員としてお引き受けいただきたく、後日御依頼をさせていただきたく存じますのでよろしく願います。</p> <p>ここで一点御報告になりますが、会長であります伊豆原様におかれましては、今回の御任期の満了に伴い、本市の交通会議委員から退任される旨の御報告をいただいています。</p> <p>平成13年のさんさんバス実証運行時から20年以上にわたり本市の公共交通推進に御支援をいただきありがとうございました。</p> <p>ぜひ、最後にごあいさつをお願いできますでしょうか。</p>
伊豆原会長	<p>事務局からお話がありましたように、少しだけ時間をください。</p> <p>実は、生まれがみよし市でございまして、力が入っていた次第ですが、私が生まれた頃はまだ村でした。そして、町、市に変わり、すごい発展をしたまちだと思っています。</p> <p>交通においては、福祉バス、福祉系のバスとしてさんさんバスをやりたいとおっしゃっていただき、少しお手伝いさせていただいたのが始まりでございます。</p> <p>20年以上前から、バスのサービスを展開して、住民の皆さまが少しでも移動できる仕組みを作りたいというふうに思い、ここまでできました。どこまでできたかは分かりませんが、本当にたくさんの皆さまのおかげでここまでこれたと思っています。</p> <p>私は、現在尾張旭市住んでいまして、この4月から地域の自治会関係のことを少しお手伝いしてほしいというお話があったため、お引き受けしたということがあります。</p> <p>みよし市のさんさんバスは、先ほど話にもあったように、利用者数が最高値となる見込みで、たくさんの方に利用していただけるようになり、育てていただいていると思っています。そろそろ私の役割も終えたかと思っています。</p> <p>そういう意味で、この3月をもって、退任させていただくことにさせていただきます。本当に長い間ありがとうございました。</p>
<p>典 礼</p> <p>近藤都市計画課長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>ささやかではございますが、花束を御用意いたしましたのでお渡ししたいと思います。長年にわたり誠にありがとうございました。</p>

【花束贈呈】

また、次年度以降も皆様の御協力をいただきながら、公共交通を推進していきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

なお、次回会議の開催日時につきましては改めて御連絡させていただきますが、5月頃を予定しております。

先ほど次年度の事業計画でお示ししたとおり、交通計画を改定するにあたり、5回の会議を予定しております。御多用のところ、恐れ入りますがよろしく願いいたします。

これをもちまして、令和5年度第3回みよし市地域公共交通会議を終了いたします。ありがとうございました。

【閉会】